

報道関係者各位

2026年6月25日

沢井製薬株式会社

日医工株式会社

沢井製薬と日医工

協業による初の特定製法変更迅速審査の承認を取得

～アトルバスタチン錠の製造所集約により安定供給体制をさらに強化～

沢井製薬株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：中手 利臣、以下 沢井製薬）と日医工株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長：岩本 紳吾、以下 日医工）は、2025年9月に合意した後発医薬品の品目統合と製造所集約に向けた協業において、初の実績となる「アトルバスタチン錠 5mg/10mg」の製造所集約にかかわる特定製法変更迅速審査の承認を取得したことをお知らせいたします。

■ 協業の背景

両社は、後発医薬品業界の喫緊の課題である「医薬品の供給不安の解消」に迅速かつ機動的に対応するため、2025年9月に「後発医薬品の品目統合等に向けた協業に合意」を発表し生産リソースの最適化を進めてまいりました。本件はこの一環として、厚生労働省による「医療用医薬品の品目統合等に伴う製造方法等の変更手続に係る手続の迅速化」を活用した取り組みであり、今後も順次、対象品目の拡大を進めてまいります。

■ 協業の概要

協業を検討している品目数：45成分 77品目（2026年6月現在）

※上記は現時点で協議・検討中の品目であり今後の状況により変更となる可能性があるため、業績への影響を示唆するものではありません。

■ 期待される効果

多くの製品を有する後発医薬品企業では、少量多品目生産（一つの機械や設備で複数の品目を生産）のため、ある品目の生産が終わり次の品目の生産に切り替える際、機械の洗浄や部品の組み換えが必要になります。このプロセスに多くの時間を要することが、生産効率の低下につながっています。

本協業では、両社が有する製品ポートフォリオと生産基盤を活用し、重複する品目の統合や製造所の集約を進めることで生産品目数の最適化を図ります。これにより、生産品目切り替え回数の削減、設備稼働率の向上を実現し、生産効率の改善が期待されます。

品目の統合や製造所を集約し、限られた生産資源を有効活用することは、将来にわたって持続的かつ安定的に医薬品をお届けするために有効なアプローチであると考えています。

沢井製薬と日医工は、今後も健全な競争を維持しながら、本協業を通して連携を図り、後発医薬品の安定供給の実現に貢献してまいります。

【沢井製薬について】

沢井製薬株式会社は、約700品目を製造販売するジェネリック医薬品事業を中核に、未病・予防から治療まで様々な分野で人々の健康に貢献しています。「なによりも患者さんのために」という企業理念のもと、全国6工場で連携し生産体制の強化に取り組んでいます。独自の製剤化技術「SAWAI HARMOTECH®」「QualityHug®」を有する等、飲みやすく高品質で付加価値の高い医薬品の開発も行っています。

詳細は (<https://www.sawai.co.jp>) をご覧ください。

【日医工について】

日医工株式会社は、後発医薬品を中心に医療用医薬品の開発、製造および販売を行う製薬企業です。

当社は、「人々の健康・幸せを支え、社員の豊かな生活も実現する」というミッションを掲げ、人々の健康と幸せを支えるために「信頼できる製造工程でつくられた安心できる医薬品を、どんな時でも欠かすことなく届ける体制」の確立を推進し続け、すべてのステークホルダーの皆さまに信頼される企業を目指してまいります。

詳細は公式ウェブサイト (<https://www.nichiiko.co.jp/>) をご覧ください。

当プレスリリースは、ステークホルダーの皆さまへ公平かつ適切なタイミングで情報をお知らせするために行っております。製品や疾病に関する情報が含まれる場合がありますが、報道関係者や株主・投資家の皆さまへの情報提供を目的としたものであり、広告やプロモーション、購入の推奨や顧客の誘引を目的とするものではありません。

◆報道関係者様お問い合わせ先◆

| | |
|--|---|
| 沢井製薬株式会社 ブランドコミュニケーション部 TEL：06-6105-5718 E-mail： koho@sawai.co.jp | 日医工株式会社 広報担当 TEL：076-442-7026 E-mail： pr@nichiiko.co.jp |
|--|---|